超精密内径ホーニング加工機
SUPER LAPPER
スーパーラッパー

精度とスピードへの信頼
1,000台以上の納入実績

◆加工範囲は内径φ3.0～φ70、加工長1,000mm。（専用工具にてシート面加工も可能）
◆加工内径が1マイクロメートル以下の真直度・真円度・円筒度まで仕上げることができます。
◆金属はもちろんガラス、チタンなどホーニングでは困難であった異種加工材料も!!

SL-6型

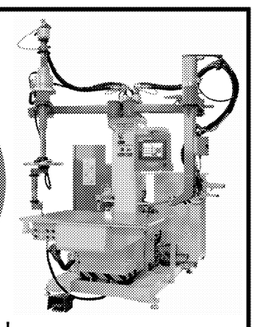
内径に関することなら当社におまかせください

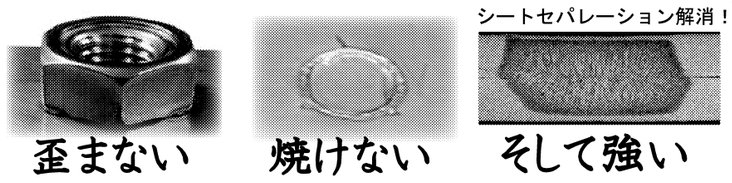
ホーニング業界初の日米欧特許取得!!
株式会社トーヨー　〒470-0131　愛知県日進市岩崎町向イ田128の1
TEL（0561）73-3331　FAX（0561）74-1268

トーヨー スーパーラッパー　検索　http://www.toyo-japan.co.jp/

高速溶接技術 HIGH SPEED SPOT WELDING TECHNOLOGY 搭載 テーブルスポット溶接機で

現場改善



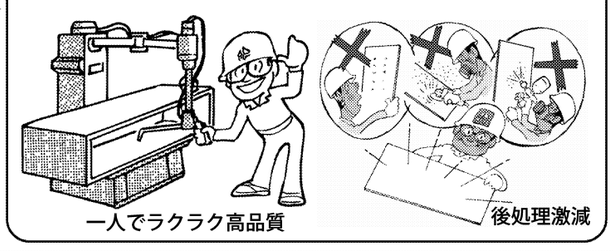


歪まない　焼けない　そして強い

改善

テーブルスポット溶接機 MYSPOT 導入メリット

1．歪まない、焼けない、だから後処理激減！
2．難溶接材（AL・ZAM・SUS）が溶接できる！
3．溶接痕が極小だから、仕上げ工程削減！
4．最新モデルだからエネルギー効率も UP



2013年　神奈川工業技術開発大賞『高速溶接技術搭載 MYSPOT』大賞受賞
〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 4020-4
TEL 042-760-4306　www.koyogiken.co.jp　株式会社 向洋技研

設備投資・研究開発費は税制・補助金の有効活用で

消費増税に備えた政府の経済対策の柱として「新ものづくり補助金」「生産性向上設備投資促進税制」などが期待されている。設備投資や試作品開発などを促す支援策になっている。各地で行われた説明会は盛況で、非常に高い関心を示している。これらの支援策がモノづくり企業の競争力強化につながり、モノづくり産業基盤の底上げを図るとともに、本格的な景気回復に向かう起爆剤になりそうだ。

支援対象を拡大
生産改善や研究開発

「ものづくり補助金」は革新的な商品やサービスを提供する中小企業の設備投資や試作品開発を促す支援策として申請受け付けを行っている。これまでの製造業だけでなく、2014年からは商業やサービス分野にも支援対象を広げている。生産プロセスの改善や新しいサービス、販売方法の開発に取り組む中小企業・小規模事業者を支援するものとなっている。

1社当たりの補助上限は1000万円だが、「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・宇宙」といった成長分野は1500万円まで引き上げられる。また大規模な設備投資を必要としない小規模事業者向けには補助上限を700万円とした特別枠を設けた。ここでいう設備投資とは補助事業で使用される機械・装置、工具・器具（測定工具・検査工具、電子計算機、デジタル複合機など）や、専用ソフトウエア取得のための経費で、補助対象経費で単価50万円（税抜き）以上を計上する場合を指す。

現在、一次公募の二次を受け付けており、締め切りが5月14日。二次公募が7月から8月にかけて行われる。一次公募で不採択だった事業者は事業計画などを見直して二次公募に応募することもできる。したがって、二次公募の競争率は一次公募よりも高くなることが予想される。

そうなると、申請書は分かりやすい内容でまとめる必要がある。利便性を考えて申請書の枚数は3枚となっているが、別途で写真や図表の添付、追加の文書や計算書なども用意することもできる。申請書類が増える分については減点対象にならないほか、審査してもらう相手に熱意を伝えることができるため、利用しない手はない。

「生産性向上設備投資促進税制」が1月20日から始まった。適用期間は3年間。優遇措置は16年3月31日までは100%即時償却または5%の税額控除、16年4月1日から17年3月31日までは特別償却50%または4%の税額控除となっている。

税制対象は先端設備ならびに、生産ラインやオペレーションの改善に資する設備である。先端設備の対象は機械装置、工具（ロール）、器具備品（測定機器や冷房用・暖房用機器など）、建物（断熱材や断熱窓）、建物付属設備（ボイラ、発光ダイオード＝LED照明など）、ソフトウエア（稼働状況などの情報を収集・分析・指示）である。これらの設備は工業会などから一定期間内（機械装置は10年以内、工具は4年以内、器具備品は6年以内、建物・建物付属設備は14年以内、ソフトウエアは5年以内）に販売された最新モデルであるほか、旧モデルと比べて年平均1%以上の生産性向上を実現していることなどの証明書を得なければならない。

工業会などから証明書の発行を受けるには次の手続きが必要である。設備メーカーは申込用紙となる証明書ならびにチェックシートに必要事項を記入し、証明書を発行してほしい工業会に申請する。工業会は設備メーカーから提出された証明書やチェックシートの裏付けとなる資料を取り寄せ確認した上で証明書を発行する。工業会から証明書の発行を受けた設備メーカーは依頼があったユーザーに証明書を送る。

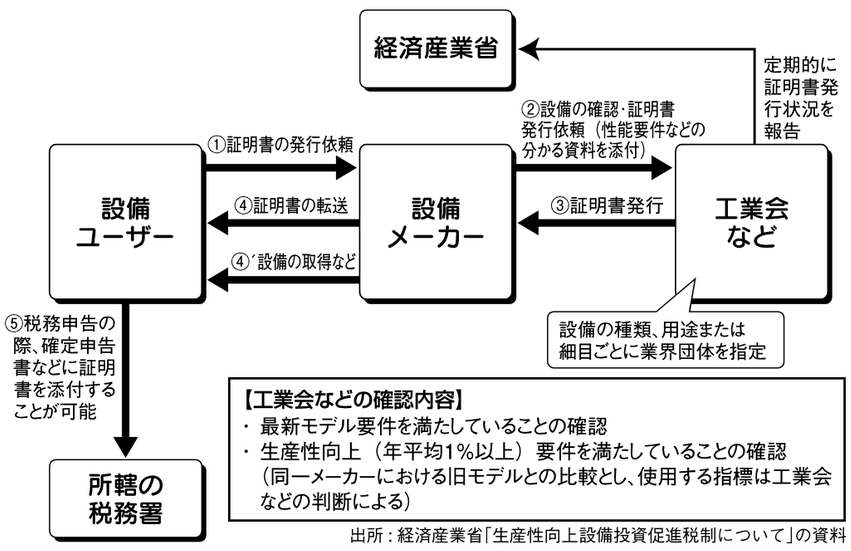
また生産ラインやオペレーションの改善に資する設備の対象は、設備投資計画上の投資収益率が年平均15%以上（中小企業は5%以上）と見込まれるものである。設備投資の対象は生産性向上や最新モデルである要件を満たす必要性はない。申請者が作成した設備投資計画を会計士または税理士がチェックした後、経済産業局の確認を得なければならない。

「研究開発費税制」の拡充ならびに延長も消費税率の引き上げに伴う経済対策として実施される。ポイントは二つ。一つは現行の研究開発費税の上乗せ措置（増加型・高水準型）の適用期限が17年3月31までの3年間延長される。もうひとつは増加型に関して、試験研究費の増加割合に応じて税額控除割合が高くなる仕組み（最大30%まで）に変更されることである。リーマン・ショック後、民間レベルの研究開発投資額が減少していることから脱却したいのが狙いだ。

研究開発費税制は総額型、増加型、高水準型の三つの区分で構成されている。総額型と上乗せ部分（増加型もしくは高水準型）を合算し、法人税額から控除するもの。増加型とは試験研究費の増額に係る税額控除制度を意味し、高水準型とは売上高に占める割合が10%を超える試験研究費に係る税額控除制度を意味する。総額型は恒久措置であるため継続する。

またオープンイノベーションを促進する観点で特別試験研究費税額控除制度を13年度から拡充。「企業間の共同研究」「中小企業への委託研究」「技術研究組合に支払う賦課金」が追加されたほか、「大学等との共同研究・委託研究」における大臣認定の廃止など大幅に要件を緩和している。特別試験研究費の税額控除を受けるためには、試験研究の内容や税額控除の手続きの違いを理解しておく必要がある。

生産性向上設備投資促進税制における先端設備の要件確認スキーム

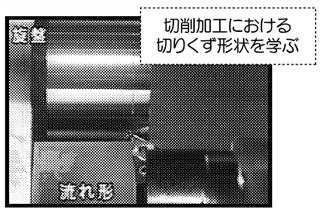


出所：経済産業省「生産性向上設備投資促進税制について」の資料

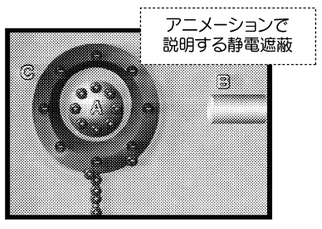
DVD VIDEO　日刊工業新聞社 教育用映像ソフト　営業・事務の方、初めて技術を学ぶ方に最適！

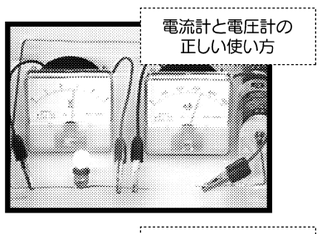
初心者向けで好評発売中！　これならわかる、やさしい技術シリーズ

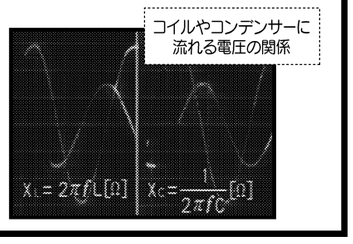
「これならわかる、やさしい技術シリーズ」は、技術に初めて触れる方々を対象とした映像教材です。製造業に勤務している方でも、“私は事務系だから”という理由で技術にしり込みしていませんか。
営業の方、事務の方にも技術の知識は必須の時代です。
このDVDは、一見難しそうに思える理工系技術をわかりやすく映像化・解説し、初めて学ぶ技術の手引きとなるように工夫しています。



切削加工における切りくず形状を学ぶ


アニメーションで説明する静電遮蔽


電流計と電圧計の正しい使い方



コイルやコンデンサーに流れる電圧の関係

○制御システムの知識 全3巻 88,200円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊3,000円	○機械の知識 全3巻 88,200円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊2,000円	○金属の知識 全2巻 58,800円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊1,000円
○電気の知識 全3巻 88,200円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊2,000円	○メカトロニクスの知識 全4巻117,600円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊 1·2巻分2,500円 3·4巻分1,500円	○プラスチックの知識 全4巻117,600円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊2,500円
○超音波の知識 全2巻 58,800円（テキスト1冊付） 各巻　29,400円（テキスト1冊付） 追加テキスト1冊1,500円	ダイジェスト版（無料貸し出し）のご案内 巻により本編の一部を紹介したデモ用の“ダイジェスト版”を用意しています。お気軽にお問合せください。	

総合カタログ進呈中！無料でご請求いただけます

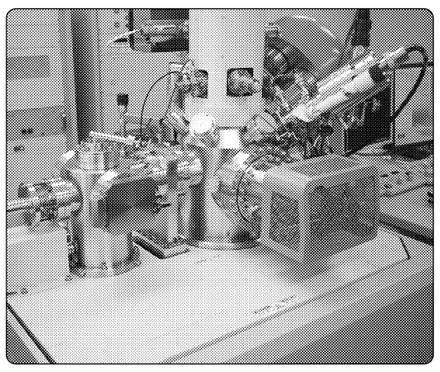
ご注文・お問い合わせは――
日刊工業新聞社 業務局 映像グループ
〒103-8545　東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL　：03-5644-7210
E-mail：video@media.nikkan.co.jp
※ホームページからもご注文いただけます。
教育用映像ソフト　検索

文部科学省 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業
「表面分析装置の共同利用による材料開発の高度化」

利用者募集中

名古屋工業大学　大型設備基盤センターは表面分析で産業界の発展に貢献します。

最新鋭の表面分析装置



電界放出型走査電子顕微鏡（FE-SEM）
ナノ走査プローブ顕微鏡（SPM）
電子プローブ
マイクロアナライザー（FE-EPMA）
オージェ電子分光分析装置（FE-AES）
二次イオン質量分析装置（SIMS）
X線光電子分光装置（ESCA）
レーザー脱離イオン化
質量分析装置（MALDI-MS）
X線CT装置（XCT）

貴社、貴学の研究開発のため、当センターの表面分析装置を是非、ご活用ください。

★大型設備基盤センターの表面分析装置を、民間企業、大学等のみなさまにご利用いただき、高機能、高性能な材料開発を推進することを目的としています。

★表面分析に詳しくない場合でも、利用方法、分析方法、分析結果等のご相談に応じますので、安心して分析をご依頼ください。専門の技術指導員が丁寧にサポートします。

国立大学法人 名古屋工業大学
大型設備基盤センター
文部科学省 先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL・FAX 052－735－7117

詳しくはホームページをご覧ください。
ホームページ
http://hyomen.web.nitech.ac.jp/
まずはお気軽にご相談ください。
Eメール　hyomen-irc@adm.nitech.ac.jp